

①生まれ変わる中心市街地



CONSTRUCTION OF A MULTIPURPOSE FACILITY INCLUDING THE CITY HALL

市庁舎を含む複合施設の建設

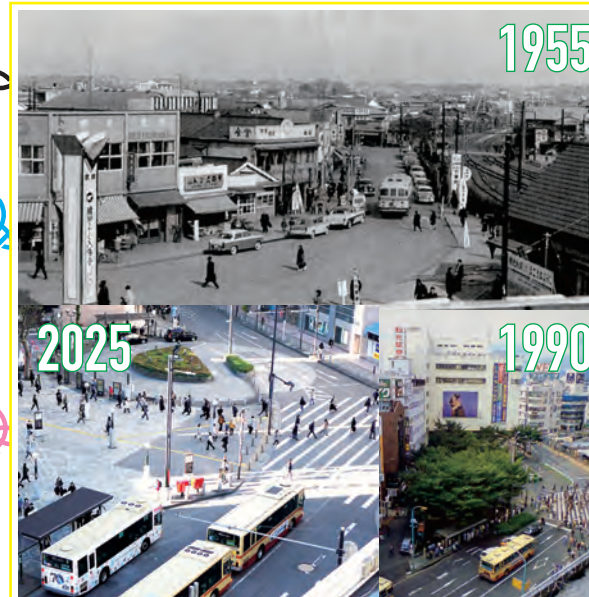
厚木バスセンター東側で、市庁舎や図書館、(仮称)未来館、国・県の機関などからなる複合施設の本体建設工事が始まっています。供用開始は2027年度を予定。新たなまちの交流の場が誕生します。



REBORN

現市役所本庁舎の跡地活用

新庁舎の建設に伴い、地域の皆さんや大学生(写真は東京工芸大学)、民間事業者などから広く意見を聞きながら跡地活用の検討を進めています。



本厚木駅北口周辺の再整備

厚木の玄関口である本厚木駅北口周辺の再整備に向け、再開発準備組合を支援しています。一体的かつ機能的なデザインの街並みの構築に取り組んでいます。

②子育て・教育で選ばれるまちへ



小・中学校の給食費を無償化

社会全体で食の環境を支え、保護者の負担軽減にもつなげていきます。



医療費インフルエンザ予防接種助成を18歳まで拡大

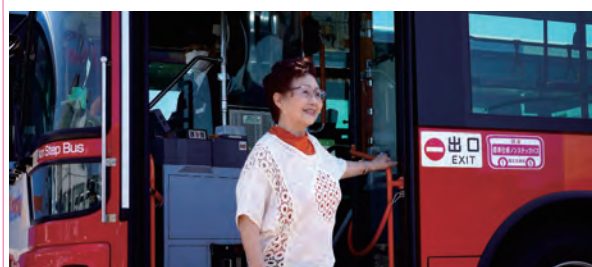
助成の対象を高校3年生相当まで拡大し、子どもたちの健やかな成長を支えていきます。



小・中学校体育館に冷暖房設備を導入

快適な教育環境を整え、災害時の避難所機能の強化にもつなげます。

③福祉の充実による住みやすいまちへ



高齢者バス割引乗車券・タクシー利用券の助成拡大

高齢者の移動手段を確保し、外出を促すため、高齢者バス割引乗車券「かなちゃん手形」の半年券・1年券購入の助成額を拡大。高齢者タクシー利用券は、対象を広げるとともに、交付枚数も増やし、いつまでも生き生きと暮らせるまちにしています。

④文化・芸術、スポーツ、歴史の聖地を目指して

スポーツ施設の新規整備やリニューアルを検討

トップアスリートのプレーを観戦でき、市民の皆さんの活動拠点にもなるような施設の整備を検討。スポーツの聖地を目指していきます。



文化会館がリニューアル

1978年にオープンした文化会館。改修工事を実施して、今年1月にリニューアルオープンしました。これからも文化・芸術活動の拠点として皆さんの活動を支えていきます。

⑤広域連携をさらに推進

県央やまなみ協議会を新たに設立

観光・農業振興、高規格道路の整備促進、災害対応、人材育成、環境啓発、スポーツ、文化、デジタル技術の活用などに、企業や大学とも連携しながら取り組み、魅力あるエリアをつくっていきます。

